

令和元年度 全国学力・学習 状況調査結果

小学6年生と中学3年生を対象に
全国一斉に実施された全国学力・学
習状況調査の、佐呂間町の結果につ
いて概要をお知らせします。

教科に関する調査

★国語

★算数・数学

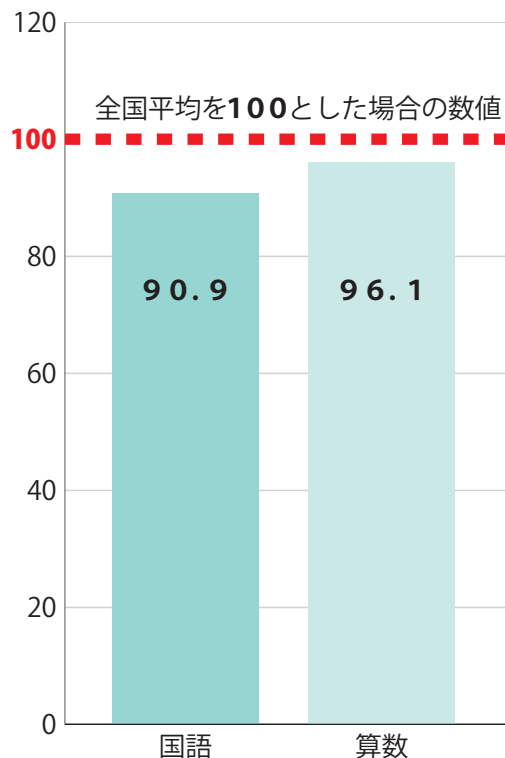
★英語(中学3年のみ)

児童生徒、学校に対する調査

★児童生徒に対するアンケート調査

★学校に対するアンケート調査

アンケート項目	佐呂間町	全国平均
朝食を毎日食べている	83.8%	95.3%
学校に行くのが楽しい	72.9%	85.8%
平日1時間以上家庭学習している	32.4%	66.1%
平日30分以上読書している	32.4%	39.8%
自分には良いところがある	62.1%	81.2%
自分で計画を立てて勉強する	75.6%	71.5%
将来の夢や目標を持っている	70.2%	83.8%
地域社会のためにすべき事を考える	56.7%	54.5%



結果の分析

国語、算数いずれについても、全国平均を下回っており、各教科の学習内容の定着が課題となりました。

領域別にみると、国語では、「書くこと」の領域で全国平均を上回りましたが、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域が全国平均を下回りました。算数では、「図形」の領域で全国平均を上回りましたが、「数と計算」「量と測定」「数量関係」の領域が全国平均を若干下回りました。

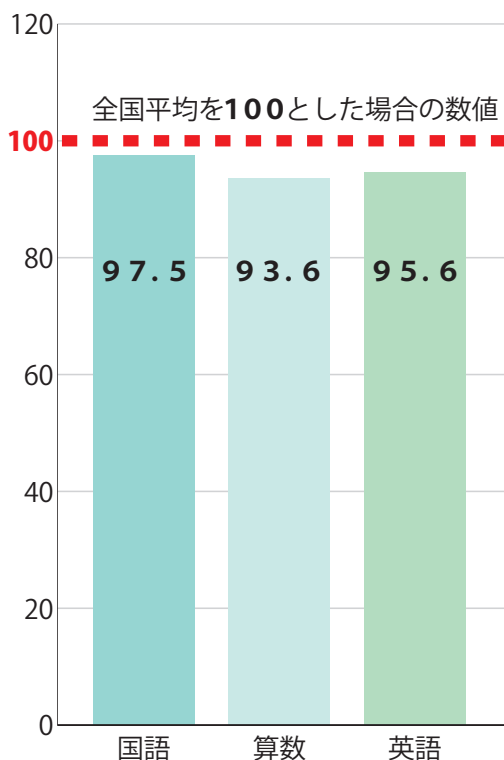
児童に対するアンケート調査では、七割の児童が「将来の夢や希望を持っている」と答え、また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありますか」の問いに約六割の児童が「あります」と答えており、自分の将来と地域社会について考え、学校生活を送っていることが伺えます。

一方学習面では、平日の家庭学習時間が全国平均より大きく下回っており、学校と家庭が連携した家庭学習の推進が課題と言えます。

学校に対するアンケート調査では、各学校とも指導法の工夫・改善を中心に研修に取り組み、学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいることが伺えました。

中学3年生の結果

アンケート項目	佐呂間町	全国平均
朝食を毎日食べている	100%	93.1%
学校に行くのが楽しい	85.3%	81.9%
平日1時間以上家庭学習している	44.0%	69.8%
平日30分以上読書している	32.3%	27.0%
自分には良いところがある	52.9%	74.1%
自分で計画を立てて勉強する	35.3%	50.4%
将来の夢や目標を持っている	73.5%	70.5%
地域社会のためにすべき事を考える	38.3%	39.4%



結果の分析

国語および数学、英語の科目すべてについて、全国平均を若干下回り、各教科の基礎・基本の定着が課題という結果となりました。

領域別にみると、国語では、「話すこと・聞くこと」の領域で全国平均を上回りましたが、「書くこと」「読むこと」「伝的な言語文化」と国語の特質に関する事項の領域が全国平均を下回りました。数学では、「図形」の領域で全国平均を上回りましたが、「数と式」「関数」「資料の活用」の領域が全国平均を下回りました。また、初の調査である英語では、「聞くこと」の領域で全国平均を上回りましたが、「読むこと」「書くこと」の領域が全国平均を下回りました。

生徒に対するアンケート調査では、全員が朝食を摂っていることなど、きちんとした生活習慣で楽しく学校生活を送っていることが伺えますが、平日の家庭学習時間が全国平均より大きく下回っており、学校と家庭が連携した家庭学習の推進が課題と言えます。

学校に対するアンケート調査では、教育課程の趣旨について家庭との共有を図り、指導法の工夫・改善等の研修、学習規律の改善指導に徹底して取り組んでいることが伺えました。

今後の学力向上に向けて

◆町内教職員で組織する「学力向上推進委員会」において、学力・学習状況調査の分析や家庭学習のさらなる定着、ICTを活用した授業等について研究し、町全体の取り組みを推進していきます。

◆佐呂間町単独で教員を配置し、放課後学習や少人数学級の設置など、きめ細やかな指導の充実を図っていきます。

◆学びの連続性を保障するため、保育所・小学校・中学校・高等学校間の交流や連携強化に努めていきます。

◆町内の学校が、それぞれ本調査の分析をもとに成果と課題を明確にし、課題解決に向けて一層の実践・推進を図っていきます。

